

2021年9月28日

各 位

会 社 名 V A L U E N E X 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 中 村 達 生
(コード番号 4422 東証マザーズ)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 C F O 鮫 島 正 明
(T E L 03 - 6902 - 9833)

＜マザーズ＞2021年7月期
投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

開催状況

開催日時 2021年9月15日
開催方法 ウェビナー形式での説明会開催
説明会資料名 2021年7月期 決算補足説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上



2021年7月期 決算補足説明資料

2021年9月14日

VALUENEX株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

VALUENEX

前年に引続き、長引くCOVID-19の感染拡大により、経済的・心理的被害を受けた方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社は、ビッグデータ俯瞰解析によりCOVID-19の感染収束と顧客企業の業績回復に貢献することを通じて世界の為に役に立ちたいと考えております。

項目

1

2021年7月期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

3

事業概要

2021年7月期 決算ハイライト

1

売上が前年を大きく下回ったため赤字幅が拡大しました。

- ・売上高 : 473百万円 (前年比▲113百万円、▲19.4%)
- ・営業利益 : ▲181百万円 (前年比▲87百万円)
- ・経常利益 : ▲166百万円 (前年比▲71百万円)
- ・最終利益 : ▲175百万円 (前年比▲84百万円)

2

コンサルティング売上 : コロナ禍において、特に2Qに前年を大きく下回り、通期でも対前年を大きく下回りました。
ASP売上 : 国内において堅調に積み上がり、対前年を若干上回りました。

- ・コンサルティング売上 : 210百万円 (前年比▲36.4%)
- ・ASP売上 : 258百万円 (前年比+0.7%)

3

コスト (売上原価 + 販管費) : 655百万円 (前年比▲3.9%)

- ・コスト削減により、前年比約26百万円削減いたしました。
- ・オフィス一部解約による減損損失約8百万円を計上しましたが、翌期以降、地代家賃・減価償却費が減少見込みでございます。

2021年7月期 連結業績概要

コロナ禍において、売上高・営業利益ともに前年を大きく下回る結果となりました。

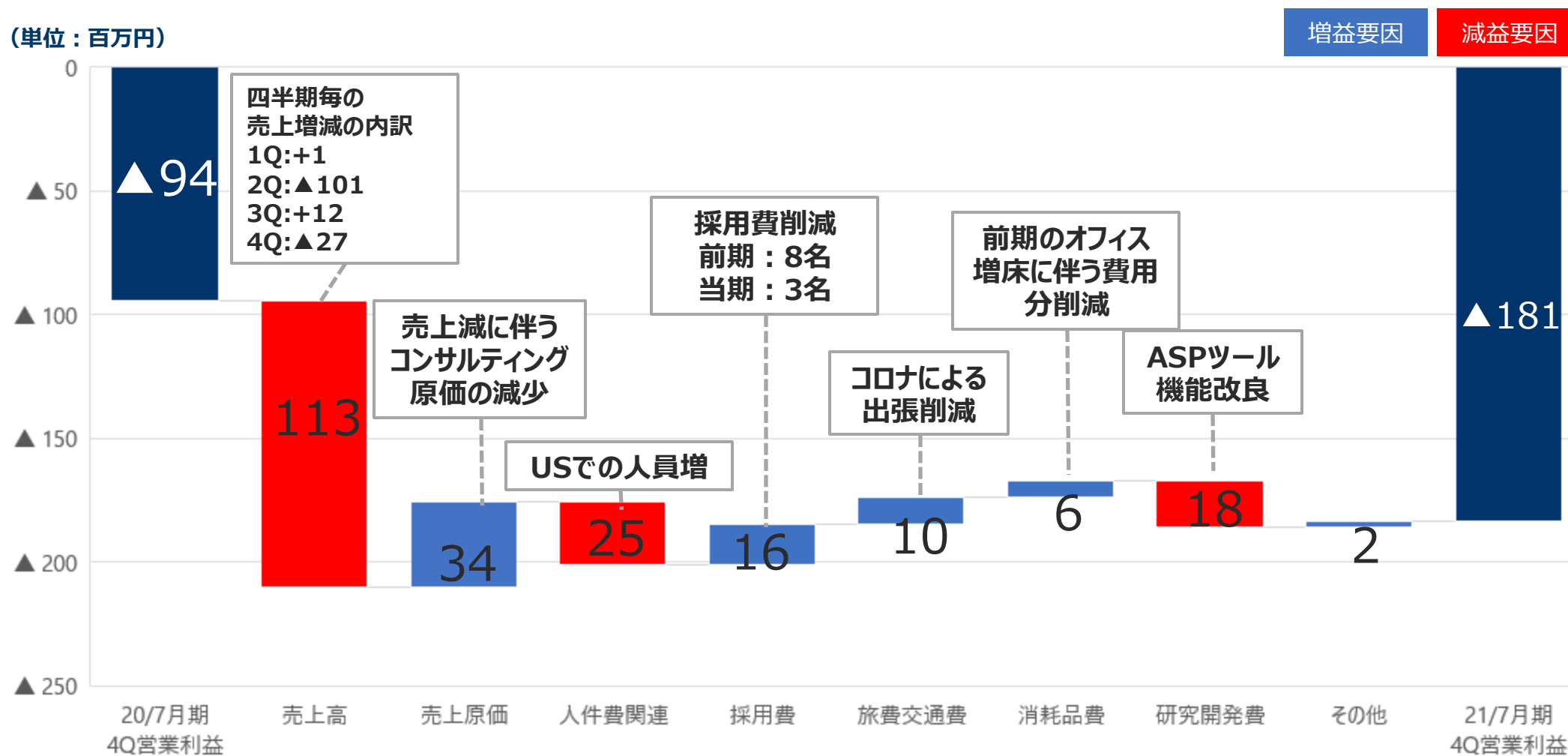
ASP売上は前年を上回ったものの、コンサルティング売上が前年の2/3となり、売上高全体で大幅減となりました。

第2四半期発表の業績予想値に対しては、売上高22百万円、経常損失68百万円を改善しております。

(単位：百万円)	20/7月期 4Q実績	21/7月期 4Q実績	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	587	473	▲ 113	▲ 19.4%
売上総利益	448	369	▲ 79	▲ 17.7%
販管費	543	550	7	+1.4%
営業利益	▲ 94	▲ 181	▲ 87	-
経常利益	▲ 95	▲ 166	▲ 71	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 90	▲ 175	▲ 84	-

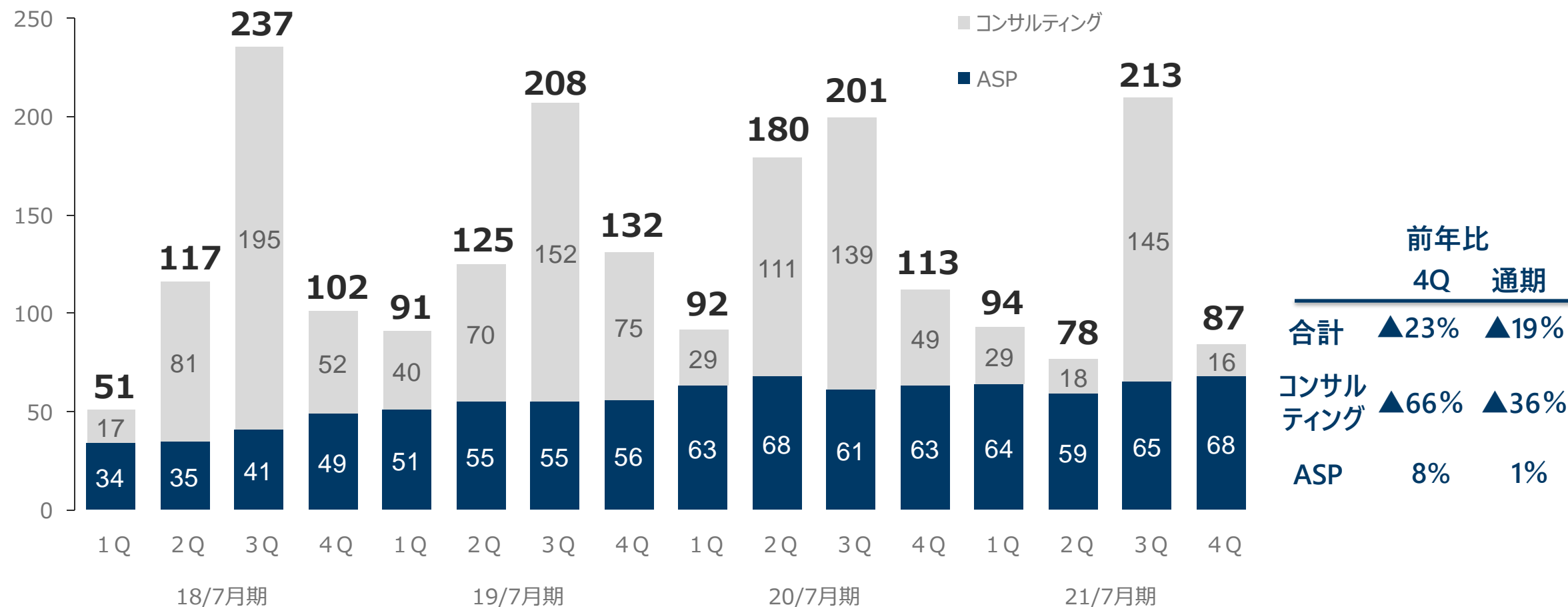
2021年7月期 累計連結営業利益増減要因

コスト全体は前年を下回ったものの、売上の減少により赤字幅が拡大しました。



連結売上高の推移（サービス別）

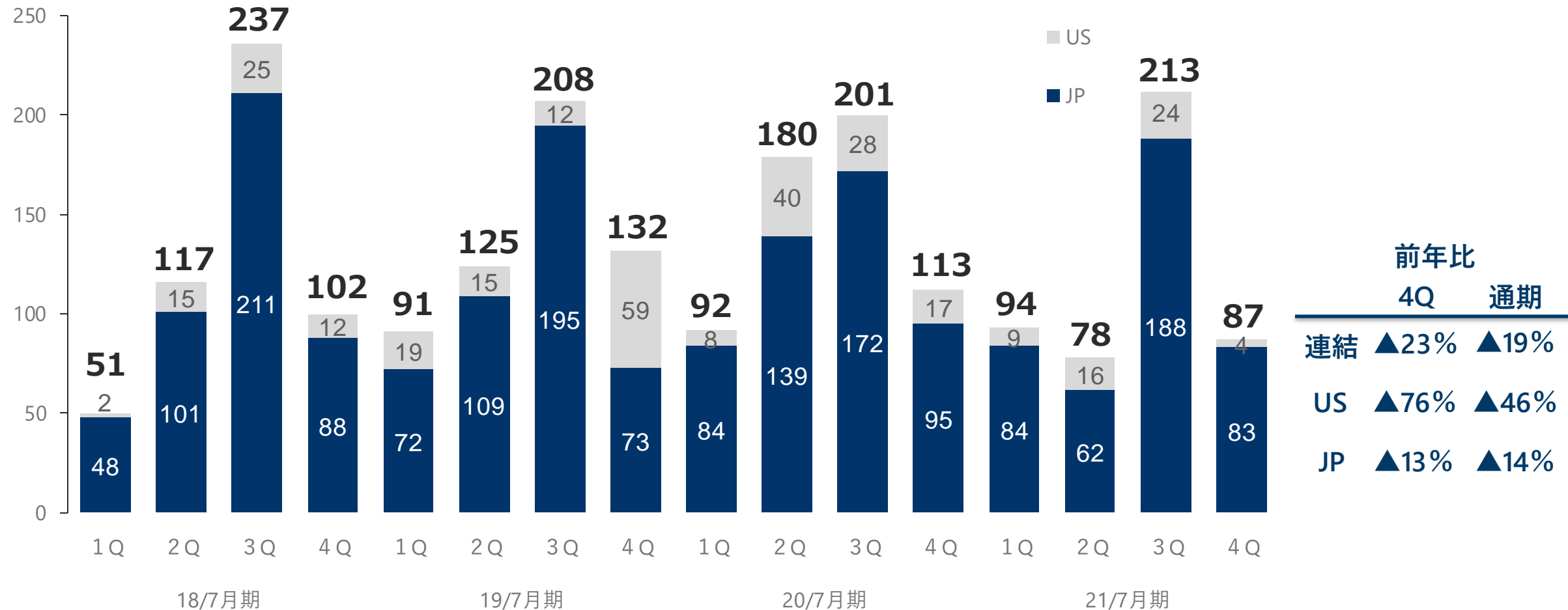
コンサルティング売上：特に2Q4Qにおいて対前年を大きく下回り、通期で前年を大きく下回りました。
 ASP売上：国内において堅調に積み上がり、通期で対前年をわずかに上回りました。



連結売上高の推移（地域別）

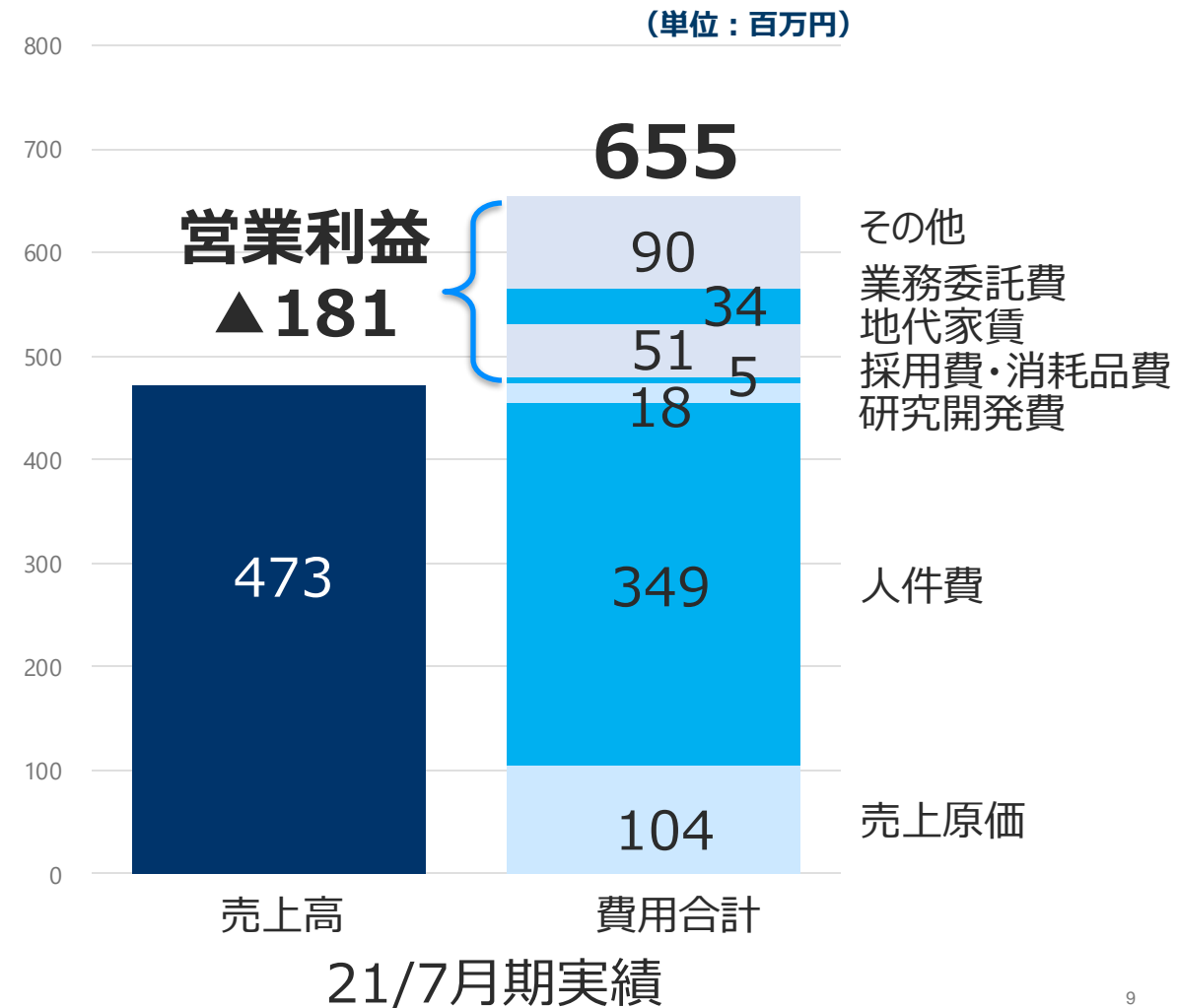
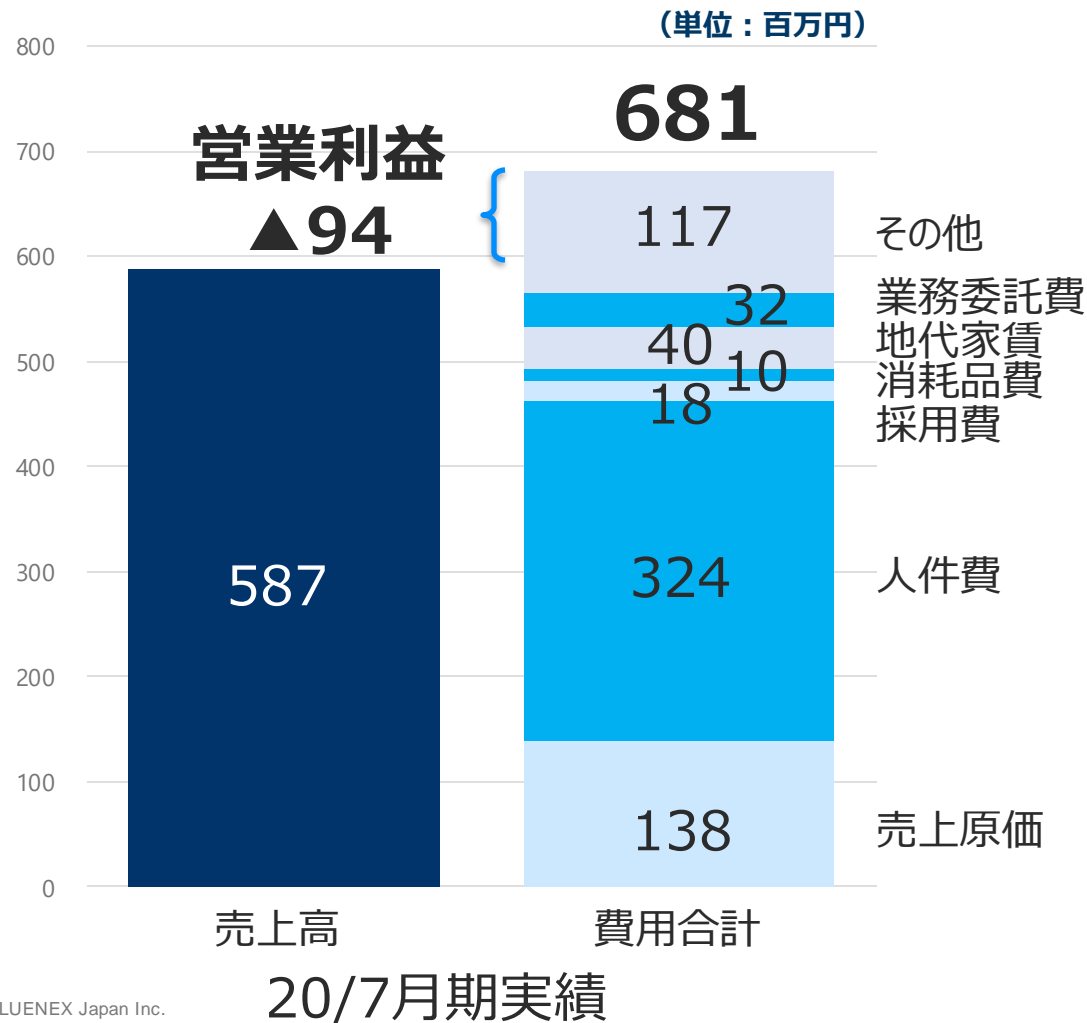
JP：コロナ禍において、特に2Qに前年を大きく下回り、通期で前年を下回りました。

US：コロナ禍において、特に2Q4Qに前年を大きく下回り、通期で前年を大きく下回りました。



2021年7月期 連結営業費用の内訳

人件費の増加：USの開発投資等の人件費関連費用です。
 採用費・消耗品費の減少：前期の一時費用・当期費用の削減です。



VALUENEX, Inc. (米国) 第4四半期活動状況

営業活動

- VALUENEX Way Big data thinking innovationワークショップという新しいサービスで様々な企業を束ねるシリコンバレーのイノベーション関連ラボからの受注に成功しました。
- 欧州の有名企業とトライアル後、契約に繋げるための提案中です（VALUENEX Radarによる新しい解析のアプローチをご紹介します）。
- 日本の有名企業から売却したい特許ポートフォリオを開示してもらい、米国有名ファンドと共に知財の有効活用や収益化に向けた新しい事業を引き続き開拓中です。
- パロアルトというシリコンバレー中心地のオフィスを活用し、米国のベンチャーキャピタル（CVC）や、オープンイノベーション向けの新しいメンバーシップサービス（ツールとコワーキングスペース提供）を開始中です。

マーケティング

- JETROシリコンバレーのスタートアップ支援プログラムで紹介頂いたメンターとビジネスに繋がる可能性の高いシリコンバレーの会社向けに事業開拓中です。

開発

- 上記のメンバーシッププログラムに含まれる米国のベンチャーキャピタル（CVC）や、オープンイノベーション向けの新しいツール開発をほぼ完了しました。

第4四半期の取り組み・記事掲載

■ 旭化成の「DX銘柄2021」選定ニュースに弊社ツールを利用した俯瞰図が掲載

旭化成の「DX銘柄2021」選定ニュースにて、知的財産情報（ビッグデータ）を事業強化、新事業の創出、M&Aなどに活用するIPランドスケープ活動が取り上げられており、その中で弊社ツールを利用した俯瞰図が掲載されました。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/asahikasei210702>

■ Google for Startups 「Going Global」に弊社CEO中村が登壇

2021年7月19日、Google主催のワークショップ「Going Global」に弊社CEO中村が登壇いたしました。

https://www.campus.co/intl/ja_jp/tokyo/going-global/

第4四半期(5~7月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

	内容	URL
メディア 掲載	2021年7月2日 旭化成の「DX銘柄2021」選定ニュースに弊社ツールを利用した俯瞰図が掲載	https://www.valuenex.com/jp/news-list/asahikasei210702
	2021年7月29日 鳥越アズーリFMに弊社CEO中村が出演	https://www.valuenex.com/jp/news-list/azzurii210729
セミナー 登壇	2021年7月1日 「市場との対話で実現するR&D部門のDXとオープンイノベーション～Makuakeビッグデータを活用した技術の用途探索～」に弊社CEOが登壇	https://note.com/misblog/n/n38526b8d15bd
	2021年7月19日 Google for Startups「Going Global」に弊社CEOが登壇	https://www.campus.co/intl/ja_jp/tokyo/going-global/

開発の状況

1. 手軽に、広く使っていただくためのユーザ層の拡大、そのための機能拡張(TechRadar Scopeの改良の継続)
 - ・現行製品としてTechRadar Scopeを販売していますが、営業社員から機能追加・改良をすることで、知財部、研究開発部門の研究者の方々に対して良いサービス提供ができるのではないかと提案がございました。
 - ・手軽に、効率よく関連する特許を抽出、示唆を得る、先行技術を調査するツールとして有用です。
 - ・一方で、可視化結果から、特許を閲覧する、抽出するための機能が不足、手間がかかる課題がございます。



実業務を見据えた機能追加を実施(1st Stage)。営業部社員がテストを行い、顧客へのセールスを開始しました。感触は良いとのこと(件数はまだ少ないが、契約に至った案件も出始めています)です。今後、営業段階で寄せられた要望についてさらなる改良を進める(2nd Stage)予定です。

2. US市場に浸透するためのMac版ツールの提供及びWindows版ツールの改良
 - ・ユーザがMacを利用しているケースが非常に多いです。
 - ・日本では、ユーザのほとんどがWindows PCを利用しています。
 - ・ブラウザベースのインターフェースの機能不足、重さ等から使いづらいという印象を持たれ、契約に至らないケースもございました。
 - ・日本のユーザにはWindows Nativeで動作するツールを提供しているが、海外ユーザに対しては上記理由から展開できない現状がございます。



Mac Nativeで動作するツールの開発を実施
 プロトタイプが完成しUS社員がコンサル業務で実際に活用しております。
 不具合修正を行い、1Q中にベータ版を顧客に展開すべく開発を継続致します。
 Windows版についても現在のツールが老朽化しているためMac版をベースにした新規ツールの開発に着手しております。

開発の状況

3. StartUp Scope(仮称)の開発

- TechRadar Scopeは類似した技術を見つけ出すツールです。
- 同様の仕組みを、StartUp企業の探索に使いたいというニーズです。



StartUp企業DBを用いた探索ツールの開発を実施中です。
プロトタイプバージョンの作成が完了致しました。
トライアルの実施、ユーザニーズのヒアリング結果をもとにさらなる改善を実施中です。

4. VALUENEX Radarの開発強化

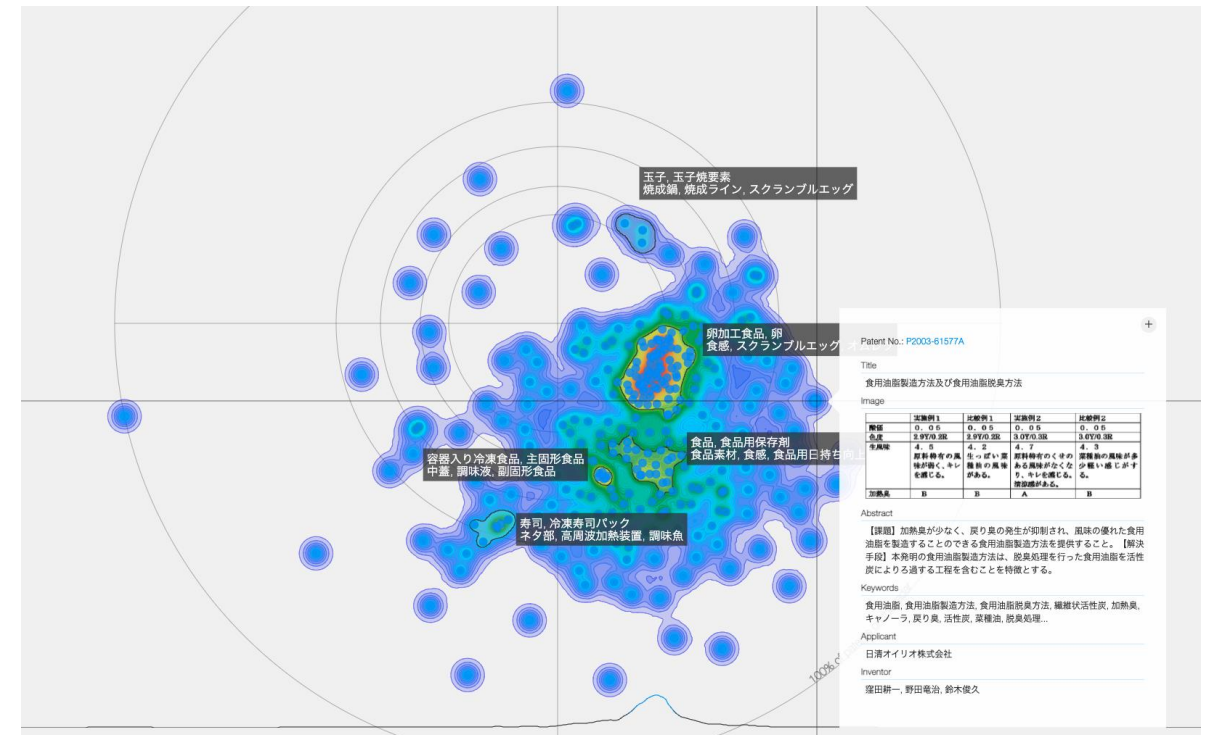
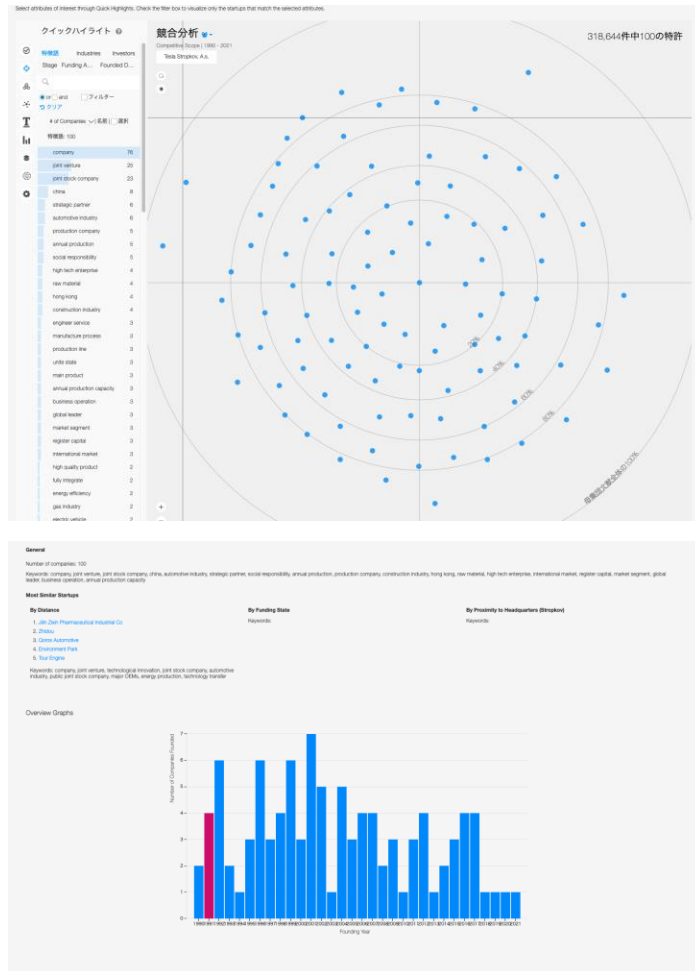
- VALUENEX Radarには顧客から改善要望が多数寄せられております。
- これらに対して、社内リソース不足から優先順位付けや開発への落とし込みが後手に回っておりました。



開発部社員の補充を実施することで、VALUENEX Radarの開発強化につなげる予定です。

開発の状況

【参考】開発中のStartup Scope(仮称)、TechRadar Scope改良版



項目

1

2021年7月期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

3

事業概要

2022年7月期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、景気減速への懸念は深刻化しており、当社グループの業績に与える影響が不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。以上の状況から、次期（2022年7月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

項目

1

2021年7月期業績報告

2

2022年7月期連結業績予想

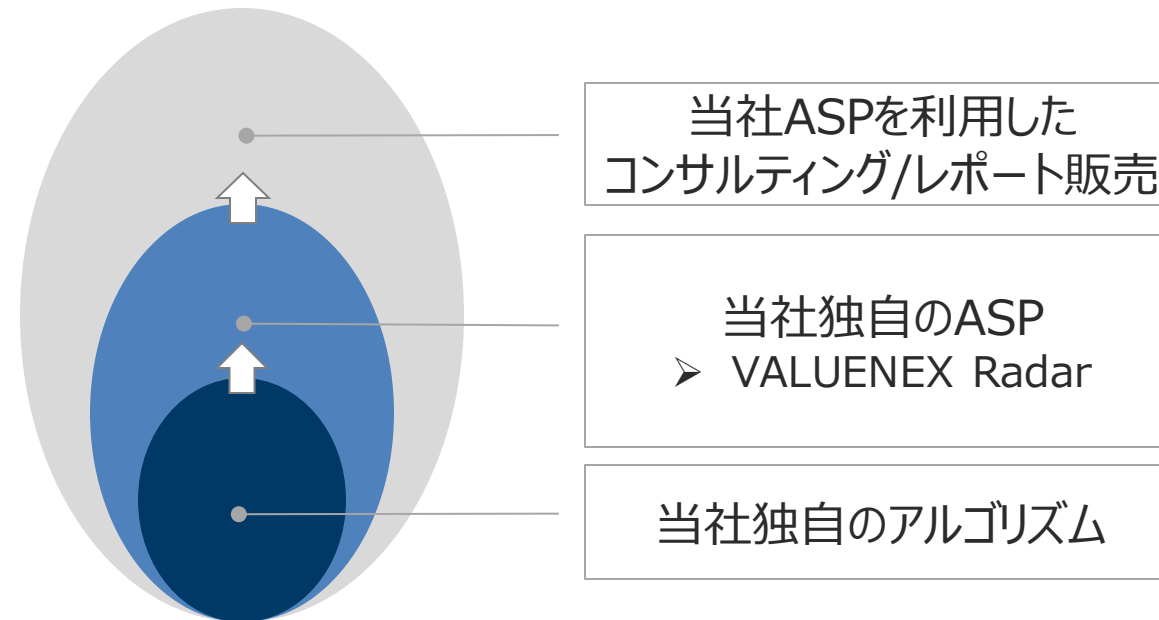
3

事業概要

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム^{注1}は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、2つの販売形態を展開しております。

- 1) 当該アルゴリズムに基づくASP^{注2}
- 2) 本ASPを活用したコンサルティング / レポート販売



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス)^{注3}に応用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1：アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。

注2：ASP（Application Service Provider）とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しています。

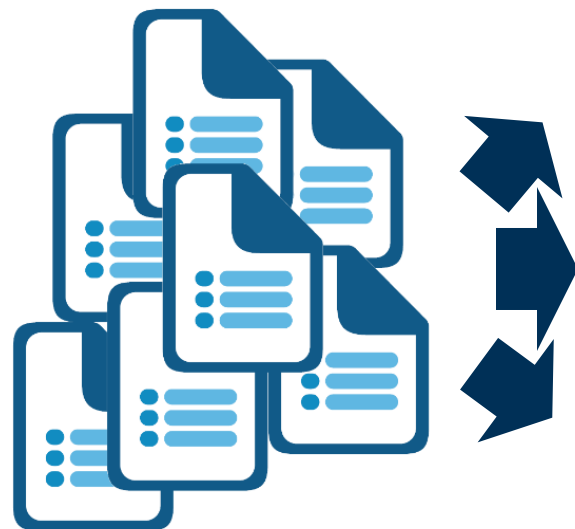
注3：経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しています。

サービスコンセプト：俯瞰解析

大量の文書データ間の関係性を独自のアルゴリズムにより計算・可視化し、意思決定・戦略構築のご支援をします。



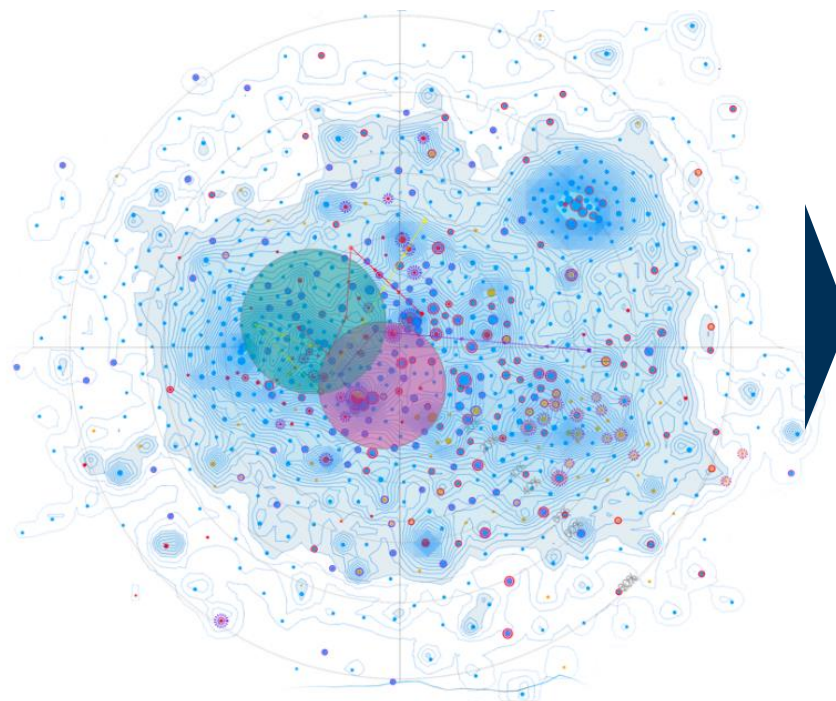
特許、論文、SNS、記事、
 アニュアルレポート 等



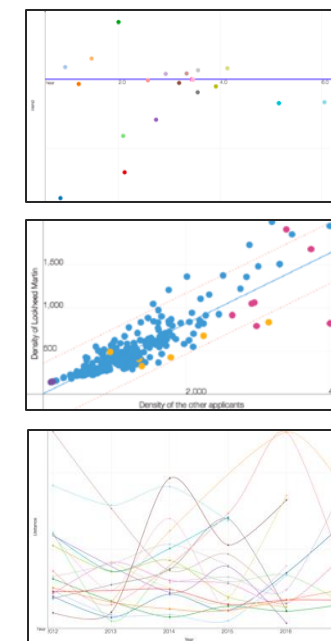
文書間の類似性に
 基づいたクラスタリング



クラスタ同士の類似性に
 基づいた可視化



様々な指標による
 定量的な解析

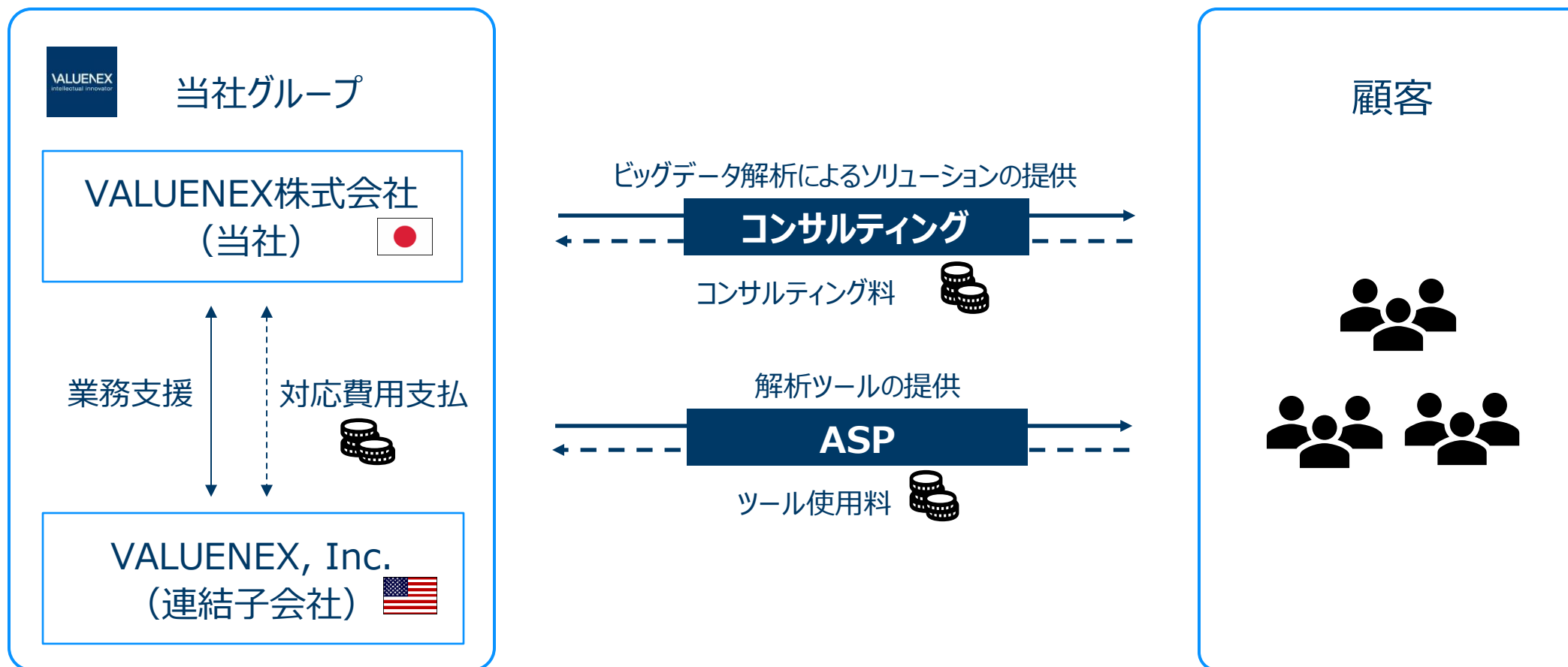


主要サービス概要

サービス分類		概要	主要対象顧客	対象文献	データベース
コンサルティング		顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど 	付属せず
ASP	VALUENEX Radar	最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学术论文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データを俯瞰解析したい方が対象		
		最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象	特許	付属
	Scope	最大1,000件まで特許を高速可視化	特定の特許や技術の類似特許を検索・可視化したい方が対象		

事業モデル

当社独自の解析ツールの提供、俯瞰解析から予測分析・戦略活用までのコンサルティング／レポート販売しています。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	530百万円（2021年7月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結26名、単体24名（2021年7月31日時点） ※役員除く		
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 専務取締役 CFO / MBA</p> <p>本多 克也 : 常務取締役 先進情報学研究所長 / 博士（工学）</p> <p>片桐 広貴 : 取締役 CTO / 工学修士</p> <p>Sam KOVACH : 取締役 CINO 海外事業推進部長</p> <p>瀧口 匡 : 取締役 経営企画担当</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役 / 弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役 / 公認内部監査人</p> <p>花堂 靖仁 : 社外監査役 / 大学名誉教授</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役 / 弁護士</p>		

ミッション及びビジョン

Mission

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です

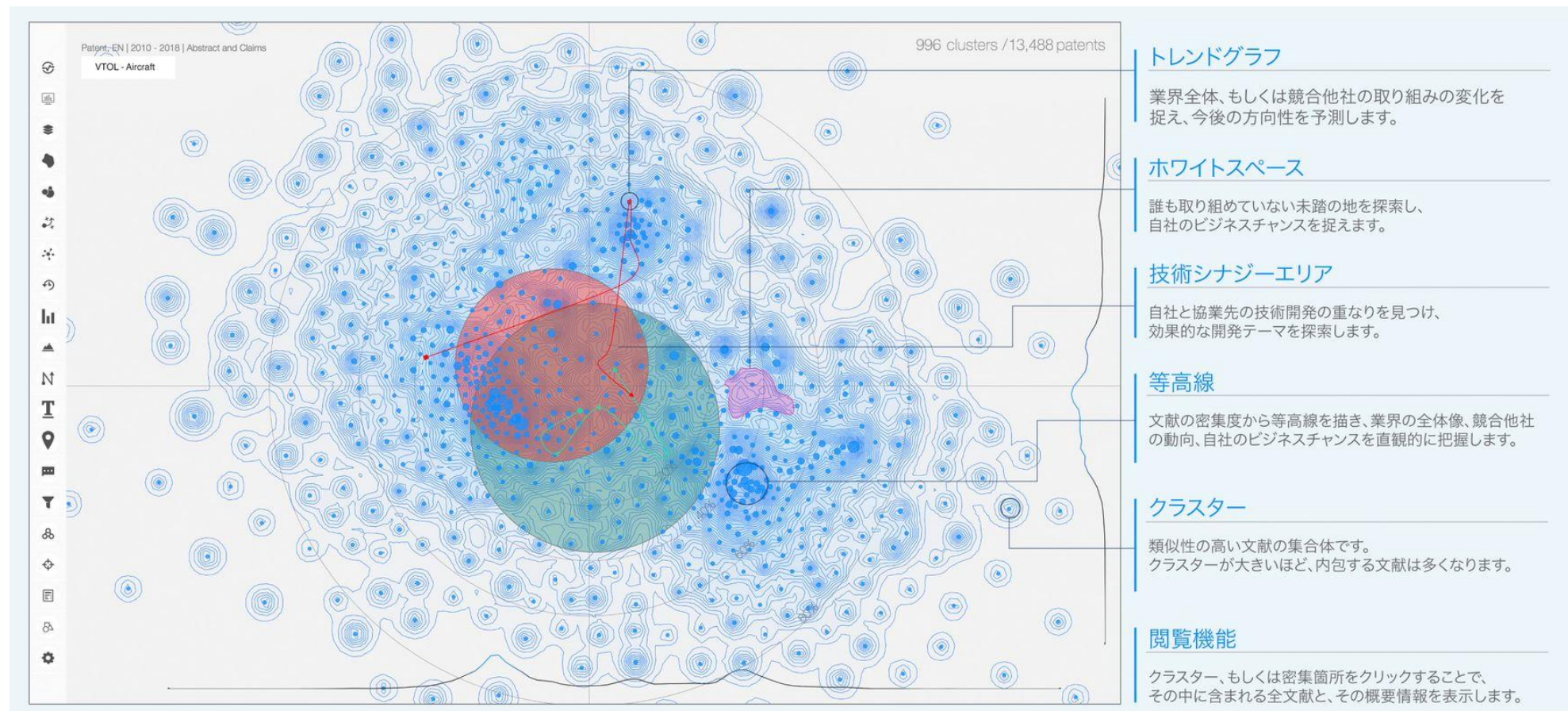
Vision

- **我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です**
- **我々は、世界に認知される企業を目指します**
- **我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します**
- **我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します**

当社ASPの検索・可視化イメージ

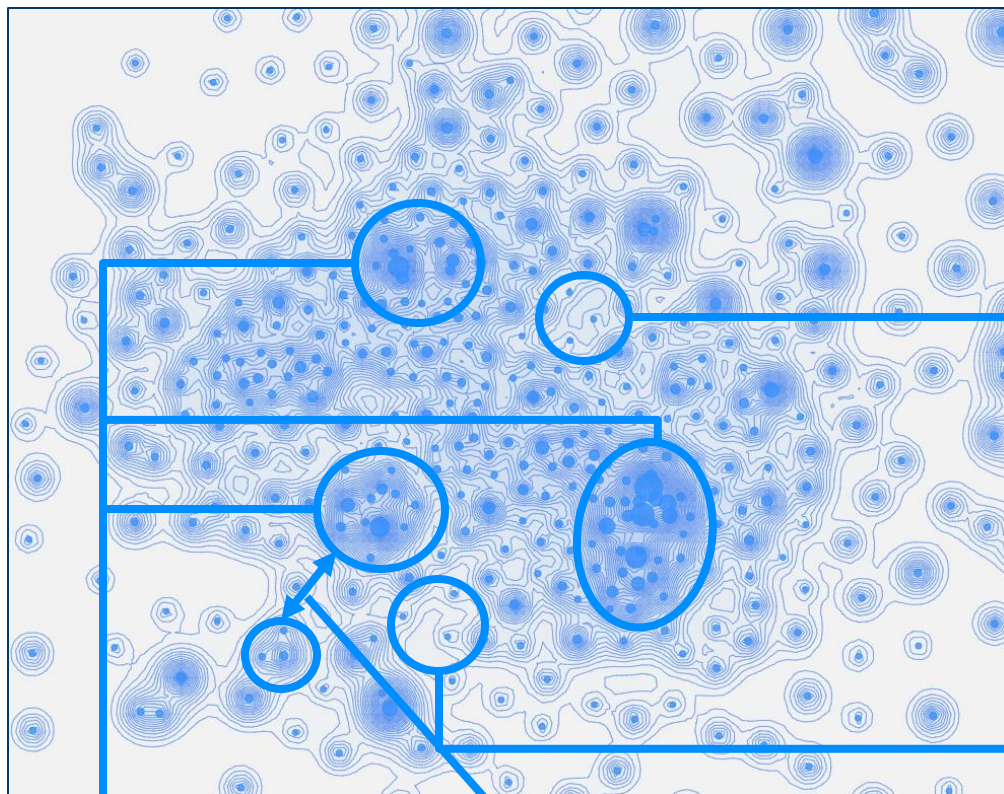
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



● 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

● ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

● ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

● ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集

= データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

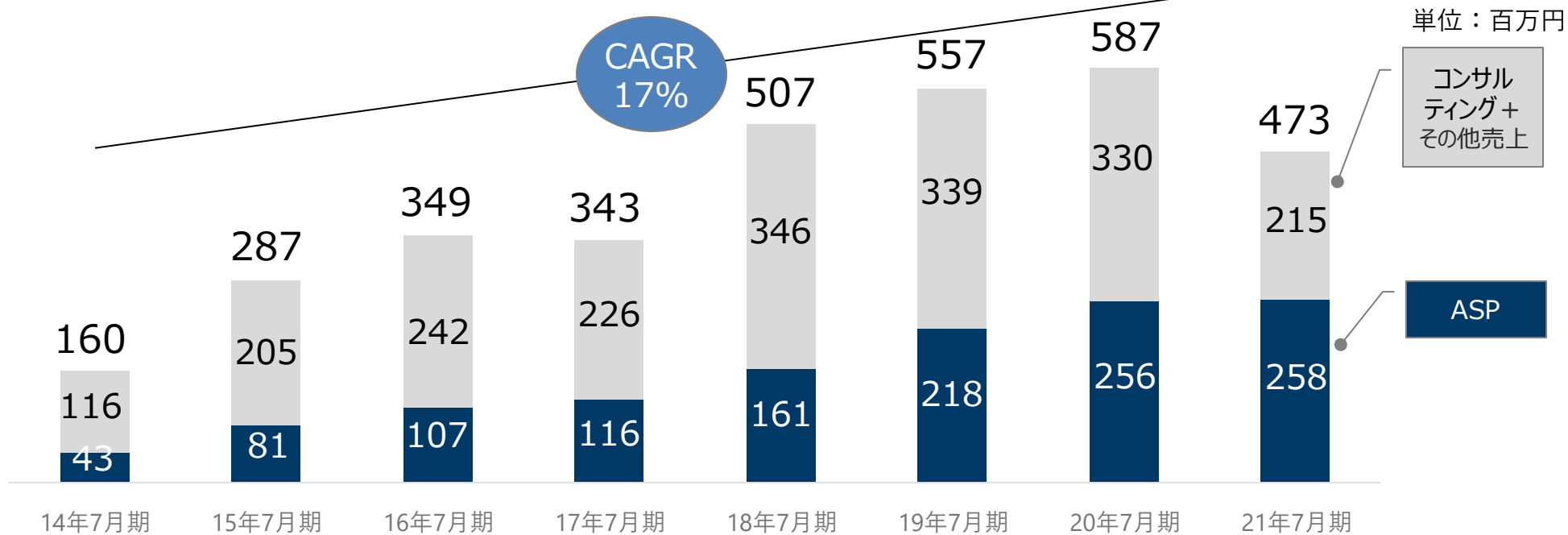
クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース

= 内容の関連性が高い

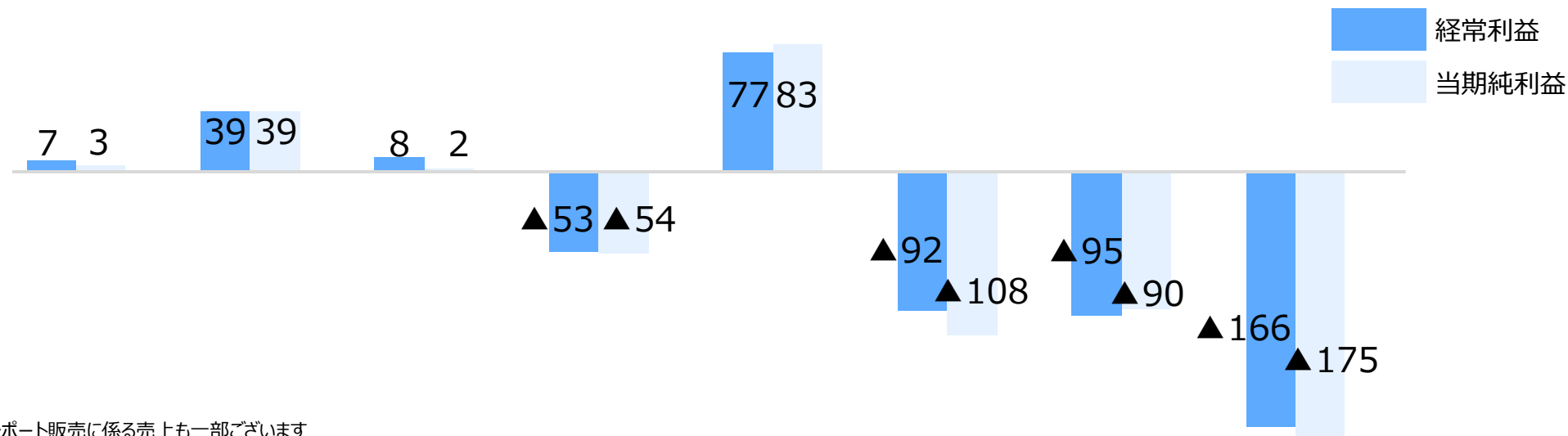
業績推移

単位：百万円

売上高^注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com